

地域に根差した スポーツの育成と活用について

(経済環境常任委員会・所管事務調査報告)

平成28年3月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っている。

そこで、経済環境常任委員会としては、平成 27 年度の調査テーマを「地域に根差したスポーツの育成と活用について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねた結果、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、その後の動きも含め報告する。

1 テーマ選定に至る現状及び理由について

本市では、レクリエーション活動の推進や施設整備などを含め、各方面からスポーツの振興を図っているが、本委員会として、今後、スポーツをより市民に身近なものとし、地域の市民活動への支援はもとより、地域密着型トップスポーツチームの育成や活用などを図る中で、裾野の広いスポーツの展開を目指し、ひいては本市の経済発展にも資することを目的として、地域に根差したスポーツの育成と活用について調査研究を行う必要があるとの観点から、平成27年7月8日の委員会で所管事務調査テーマに選定した。

2 委員会の大きな流れについて

委員会では、スポーツ推進計画の策定に向け、地域密着型トップスポーツチームの育成と活用を含め、委員会として提言できるよう、12月定例会までに意見集約し、その後、3月定例会までに個別事業も挙げた具体の提言などを集約していくこととした。

また、地域密着型トップスポーツチームの育成と活用は、本市将来の経済にとって相当な効果が見込めること、そして、市民スポーツの、より一層の振興

のためにも、指導者の充実・活用などの面を含め相乗効果が期待できることから、市民等への影響についても、合わせて議論していくこととした。

3 委員会等の開催状況及び活動内容について

(1) 経済環境常任委員会

① 平成 27 年 8 月 14 日 当局からの現状等の説明・質疑応答

本市スポーツ振興基本計画や、まちづくりとスポーツの関係性、また、地域密着型トップスポーツチームに対する本市の支援状況等について説明を受けた。

② 平成 27 年 9 月 16 日 当局説明・質疑応答・委員間討議

高松市民のスポーツに関する意識調査結果を初め、カマタマーレ讃岐の経済波及効果や地域密着型トップスポーツチームの支援に対する課題等についての説明を受けた。

③ 平成 27 年 10 月 23 日 先進地視察決定

④ 平成 27 年 12 月 1 日 先進地視察後の議員間討議・スポーツ推進計画への意見

視察先の取り組み状況も参考に、委員から事前に提出された意見をもとに議論を行った。

⑤ 平成 27 年 12 月 17 日 スポーツ推進計画への意見の取りまとめ

12 月定例会中の委員会において、次期スポーツ推進計画に対する委員会としての提言を取りまとめた。

⑥ 平成 28 年 1 月 20 日 最終提言に向けた自由討議

⑦ 平成 28 年 2 月 16 日 委員会の最終提言

高松市スポーツ推進計画

スポーツを

たのしく！かっきあふれる！まちづくりに！つなげよう！

(2) 視 察

平成 27 年 11 月 9 日・10 日 先進地視察

・株式会社 ギラヴァンツ北九州



- 佐賀県鳥栖市



4 委員会としての提言内容について

〔12月17日の委員会でのスポーツ推進計画策定に向けた提言〕

基本方針2 『集まろう！みんなでスポーツ』

基本施策（2）地域密着型トップスポーツチームとの連携

●地域密着型トップスポーツチームへの支援

商店街・駅等に交流コーナーやサテライトスタジオを設置するなどにより、PRに努めることや、行政主導ではなく、市民とトップスポーツチームの協働によるイベント等の実施などを通じて、市民がトップスポーツチームを身近に感じることが大切であり、これら地域に根差した活動を支援するよう盛り込むこと。

基本方針3 『支えあおう！みんなのスポーツ』

基本施策（1）スポーツ指導者の充実・活用

●外部指導者の活用

学校の部活動における指導者不足を解消し、また、成長過程に見合った質の高い指導を行うことを目指して、トップスポーツチーム等と連携しての外部指導者の活用策について盛り込むこと。

基本施策（2）スポーツ指導者の資質向上

●指導者の育成

トップスポーツチームや体育大学等卒業者といったスポーツ関係者を、学校の部活動での指導や指導者養成などに幅広く活用できる仕組みの構築について盛り込むこと。

地域に根差したチームを作り上げる意識を共有して推進するため、地域密着型トップスポーツチームと、さらに連携を強化し、協働した取り組みを目指すよう「計画の推進」に盛り込むこと。

〔3月4日の委員長報告に向けての最終とりまとめ（閉会中継続調査終了）〕

1 地域密着型トップスポーツチームの本市経済への影響について

(1) チームの魅力向上

- ① 高松市民のスポーツに関する意識調査の結果で、地域密着型トップスポーツチームの試合観戦に行かなかった理由として、特に理由はないとの回答が4割を占めていたことから、今後は、試合を会場で見たいというファンをふやし、直接、足を運んでもらえるよう、地域密着型トップスポーツチームの魅力向上につながるチームの技術レベルの向上に向けて働きかけること。このため、技術面・肉体面・精神面等、選手に対して高度な指導ができる指導者をチームが活用できるよう予算面を含め支援すること。
- ② 商店街・駅等への交流コーナーやサテライトスタジオの設置、試合開催案内リーフレットの配布、本市の地域密着型トップスポーツチームのトータルカレンダーの作成・配布、練習会場での選手との触れ合いや選手の学校訪問など、チームや選手を身近に感じられる取り組みを充実させ、チームの知名度向上とファンの拡大に努めること。

(2) 県外からの誘客

対戦チームサポーターの来高による経済効果は大きいことから、観光地等で利用可能な特典付きのパンフレットや特産品の配布などを行うアウェイサポーターおもてなし事業等をカマタマーレ讃岐以外にも拡大すること。また、市内観光業者等と連携し、地域密着型トップスポーツチームと本市観光を結びつけた情報の発信を積極的に行い、県外からの誘客・リピータ

一客の増加につなげることにより、本市経済の活性化に貢献していくこと。

2 地域密着型トップスポーツチームの市民等への影響について

(1) 指導者の育成・活用

- ① 地域密着型トップスポーツチーム等と連携し外部指導者として活用することにより、学校の部活動等における指導者不足の解消、スポーツへの愛着の醸成と競技力の向上、さらには学年・年齢にこだわらない子供の成長過程に見合った質の高い指導を行えるようすること。
- ② スポーツ指導者の養成を望む声が多いことから、スポーツ少年団などの地域競技活動や指導者研修会などにおいて、地域密着型トップスポーツチームのコーチや選手、また、体育大学卒業者等が、技術面だけでなく、肉体面・精神面も含めた指導者として、本市に根づく仕組みを確立すること。

(2) 地域密着型トップスポーツチーム育成と活用における協働的取り組み

- ① 地域密着型トップスポーツチームを支援する上で、市民等の地域・クラブ・市役所が協働してチームを育成する意識を共有するため、それぞれの役割と取り組みの具体的ビジョンを明示すること。特に、行政として、チームへの練習環境の拡充や、県外チームの先進事例の紹介などに積極的に取り組むこと。
- ② 次期スポーツ推進計画には、本市関係スポーツ団体に加え地域密着型トップスポーツチームとの連携を盛り込んでいることから、今後、市民がスポーツを行う上で地域密着型トップスポーツチームを十分活用できるよう、本市関係スポーツ団体等も交え、より連携を強固にするための協議の場を設けること。